



文部科学省と交渉する議員団
(上)、発言する山岡光広議員(11日、東京で)

切実な実態を訴える山岡光広議員

コロナ対策、特別支援学校の超過密化・大規模化など 6省・28項目

前進的回答引き出す

日本共産党滋賀県地方議員団は11日、厚生労働省・文部科学省など六省に28項目の要望書を届けその実現を求めて交渉しました。これまで毎年行ってきた政府交渉ですが、コロナ禍で中断していたため三年ぶり。山岡光広・岡田重美・西山実の三甲賀市議も揃って参加。交渉団事務局の山岡議員は、事前の現地調査や県交渉などをふまえ、政府に具体的改善を求め、いくつか前進的回答を引き出しました。今後引き続き取り組んでいきます。

●：厚生労働省では、第八波が懸念される新型コロナ対策強化、子どもに係る国保の均等割拡充、重度障がい者のグループホーム整備の国庫補助増額、加齢性難聴に補聴器購入補助、生活保護の拡充など10項目を要求。このなかでコロナ対策で従来の全数把握に改めるよう強調。検査に対する財政支援については「行政支援は2分の一、地方単独の場合は臨時交付金を活用することが可能」との回答だったので、

「臨時交付金は限度額が決まっている。それ以外の財政支援が必要」と再度要求。またコロナ患者が必要な医療を受けるうえで病床を確保することが重要なのに、政府が「病床確保料」を10月から減額しようとしていることについて強く抗議、見直すよう求めました。これには、「全国からも同様意見が寄せられており、見直しを検討している」との回答でした。

●：文部科学省では、昨年9月、特別支援学校に設置基準が設けられたものの既存の学校は「努力義務」とされている問題について、「超過密・大規模化で特別教室を普通教室に転用したり、厨房の許容能力を超える大人数のため、全県で447人の教職員に給食が提供できない事態になっている」として「既存学校にも設置基準を適

用して早期に施設改善をはかること、滋賀の実情から考えると分離・新設することで改善すべき」と求めました。これに「設置基準に示されている基準で既存校も施設整備を行う必要がある。そのために補助率も拡充している」と回答。山岡議員は「昨年9月の通達では、付則で努力義務が示されている。その回答ならば再度『設置基準と既存校の施設整備について』の通達を全国に発信すべき」と求めました。

●：国土交通省では、信楽高原鐵道の再構築事業計画が今年度で終了となるが、引き続き財政支援を強く求めました。「優先採択にはならないが、引き続き三分の一補助を継続したい」との回答でした。

学校図書整備については、地方財政措置が有効に活用されるよう10月末に新たな通達をだしたことが報告されました。また司書は兼務ではなく「1.3校に一人配置」できるように引き続き支援していきたいとの回答でした。GIGA構想で小中生一人一台のタブレット配備で、五年後の更新時に補助制度を求めたことには「全国から同様の要望があり、大きな課題である」との認識を示しました。

市長に新年度予算要求

日本共産党

日本共産党甲賀市議員団は10日、新年度予算編成中の岩永市長に対し切実な要求を81項目の要望書にまとめ提出しました(写真)。



山ちゃんの一週間

●…11日(金)は、6時前の電車で東京へ、6省28項目の要望を届け政府と交渉。●…12日(土)は、13時半から大津市民会館で日本共産党演説会。●…13日(日)は、8時半から水口で防災訓練、10時から八坂神社新嘗祭、雨のため予定変更して議会準備・ニュース作成等。●…14日(月)は、13時半から草津で会議、その後宿直。●…15日(火)は、議会準備等。●…16日(水)は、9時から胃カメラなど検査、13時から工事監査で水口社会福祉センター調査。●…17日(木)は、9時から定期監査、9時半から厚生文教常任委員会、13時から17時まで定期監査。



やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員 活動報告

2022年11月20日
第954号